

質問者 北嶋議員	答弁者	村長	産業課 総務課
<p>「日本で最も美しい村」連合に加盟した村の防風林について</p> <p>本村は、2016年に「日本で最も美しい村」連合に加盟しました。北海道では9町村が加盟し、各町村ではそれぞれ特長あるイメージ形成に努力していると思います。</p> <p>本村の特長である風景としては防風林が考えられ、防風林は農村景観の中で象徴的な役割を、良好な地域イメージに貢献しております。</p> <p>しかし、その防風林は長い年月の間に、木の枝が伸び、その枝の下には雑草、雑木が生え、木の根までが農地まで伸びております。</p> <p>中札内村の基幹産業は農業であります。防風林の影響により、防風林際の一部の農地では、耕作ができなかったり、大型機械が枝にぶつかるなどの影響が出ています。</p> <p>農村景観の象徴である防風林により、このような影響が出ておりますが、このような影響に対して、「日本で最も美しい村」連合に加盟した村としては、どのような対策を講じていく考えなのか伺います。</p> <p>また、中札内村では、村づくりを応援してくれる全国各地の人達から多額のふるさと納税寄附金をいただいております。</p> <p>防風林の管理、整備を行うには、長い年月と多額の費用が必要だと思っておりますが、このふるさと納税を活用して、この美しい農村景観である防風林内の枝処理、雑木処理や雑草処理をするなど、防風林の管理費用に充てることもできるのではないのでしょうか。</p> <p>ふるさと納税していただいた人達も喜ぶのではないのでしょうか。</p> <p>村は、大切な農村景観、防風林を守るための資金として、ふるさと納税寄附金を活用する考えはあるのか伺います。</p>			
<p>本村の防風保安林は美しい農村風景の形成に寄与しており、「日本で最も美しい村」連合に加盟した際にもこの点が評価されたところですが、また、その名のとおり、開拓時代から農作物を風害から守る一助を担っており、森林法に基づき都道府県知事等から指定・保全される公益的資産でもあり、その管理については「中札内村森林整備計画」により進められております。北海道の造林事業補助金を活用した下刈り、間伐等の作業のほか、冬季労働者雇用対策事業等を活用した保安林内の下刈り、雑木処理等も行っているところですが、ご質問がありました営農活動に影響が出ている畑際の保安林対策についてですが、村では農業者からの連絡や職員の</p>			

見回りによる目視点検により、その都度、十勝広域森林組合や高齢者就労センターに支障木伐採等の処理を依頼し、営農への支障を軽減する対応に努めております。

また、一部の防風保安林では、知事指定を所管する十勝総合振興局とも協議を行いながら、防風効果を維持した上での伐採を行っております。畑際の植栽についても、樹種を変える工夫や、現場状況にもよりますが、伐採木より林帯内側に植栽をすることで、将来的に営農に支障がでないような取組も進めております。

その対応は現場ごとに異なりますが、今後も防風保安林に隣接する農業者と協議を行いながら、必要に応じて営農活動への影響を最小限に抑えるよう努力してまいります。

併せて、風から大切な作物や土壌を守り、地温上昇により圃場の生産性向上が図られることなど、農業全体に多面的な効果を持つ防風保安林の意義を理解していただくような周知も進めてまいります。

次に防風保安林の管理、整備に関わる費用についてですが、法律に基づく公益的資産として計画的かつ恒久的に取り組む事業の性質上、その他の生活基盤インフラの維持管理と同様に、安定的な財源を確保して取り組むことが望ましいと考えます。

ただ、北嶋議員のご指摘のとおり、防風保安林は本村の美しい農村景観を維持する大切な要素でもあり、ふるさと納税寄附金を原資とした「豊かな環境等創成基金」を活用し、支援くださった寄附者の負託にこたえることも十分に意義があると認識を新たにいたしました。

国庫補助金等を活用し進めている造林事業とは別に、防風保安林の管理に係る雑木処理や支障木伐採処理などに対しては、ふるさと納税寄附金により取り組むことを前向きに検討いたします。